

先週の礼拝メッセージ(2023年7月23日) ベン牧師

「自傷行為」 ルカによる福音書 8:26-29

イエス様がガリラヤ湖の東側のデカポリス地方に行かれた時のお話です。そこはユダヤ人居住区ではなく、異邦人が住んでいました。イエス様はそこで悪霊に取りつかれた男と出会います。イエス様が悪霊に、男から出ていくように命じられました。そして悪霊の名を尋ねられ、悪霊は「レギオン」と答えます。レギオンとはローマ軍の一師団を指す言葉です。それほど多くの悪霊が、彼の中には入っていたのです。悪霊は、自分たちに底なしの淵に行けとお命じにならないようにとイエス様に願います。興味深いことに、悪霊はイエス様が自分たちを陰府に落とすことができる力と権威を持っておられることを知っていたのです。そして、悪霊は豚の中に入る許しをイエス様に願い、許されます。すると二千頭(マルコ5:13)もの豚が一斉に崖を下って、湖になだれ込み、溺死しました。そして悪霊につかれた男は、イエス様によって悪霊から解放されたのです。

今の時代、この男と同じ状況にいる人はいないでしょう。しかしどれほど多くの方が自分を傷つける自傷行為に走っているのでしょうか。実際に自分の身を傷つける、あるいは自ら命を断つということだけが自傷行為ではなく、広い意味では、アルコール中毒や家庭内暴力なども自傷行為です。頭ではいけないことだとわかっているながら、それらを止められないために、自分の健康を害し、仕事も続けられず、家庭も壊れていく、結局のところ、自分で自分を傷つけているのです。私たちは決して、このグラサの男を笑うことはできません。

こんなひどい状態にいたこの男の最大の自傷行為は何だったのでしょうか。それは裸でいることでも、自分の身を傷つけることでも、鎖を引きちぎることでもありません。聖書には記されていませんが、これほど多くの悪霊に入られていたということは、彼が悪霊に対して、なんだかの形で心を開く行為をしていたのだと思います。悪霊はむやみやたらに人にとりつくことはしません。例えば占いやオカルトなどは悪霊に対して心開くことになり、非常に危険です。

では、現代の日本人がしている最悪の自傷行為は何でしょうか。それは、自分自身を地獄に追いやるということです。福音を聞いても、自分とは関係ない、自分には何の問題もない、神など必要ないと、拒み続けて一生を終わるとするなら、それは自分で自分のことを地獄に追いやって

いる、最大の自傷行為なのです。その自傷行為を、日本人の人口の99%以上の方がしているのです。

この男の人は、イエス様によって悪霊を追い出していただき、正気になることができました。二千頭の豚が溺れ死んだのを見た豚飼いたちは逃げ出し、町や村にこのことを知らせたとあります。知らせを受けた人々はやって来て、服を着て、正気になってイエス様の足元に座っている男を見ました。同時に、自分達が受けた損失の大きさも目の当たりにしました。そして彼らは、恐ろしくなって、イエス様にグラサ地方から出て行ってほしいと願うのです。

もう一度言いますが、手に負えなかった男が正気に戻ったのです。しかしそのことは喜ばず、豚二千頭の経済的損失の方が、1人の人が癒やされ救われたことより大きかったのです。彼らはすでにイエス様の噂は聞いて知っていたことでしょう。そのお方が自分たちの町に来て、長年悪霊につかれてどうしようもなかった男を癒してくださったのです。本当だったら、この町にとどまり、病人を癒し、神の国の話を聞かせて欲しいと願ってもおかしくはないでしょう。

ある意味、この町の人たちがしたことも自傷行為と言えるでしょう。イエス様に出ていくように願い、福音を聞くチャンスを手を自ら拒否したのです。イエス様を救い主として迎えようとしないうちに、その結果、自分自身を地獄に追いやっているのです。

今この時も、この最大の自傷行為を、私たちの家族や友人はしているのだという事実を心に留めましょう。私たちは彼らに対して何をすべきでしょうか。この男は、イエス様のお供をしたいと願いましたが、イエス様は、「自分の家に帰って、神があなたにしてくださったことを、ことごとく話して聞かせなさい。」とおっしゃいました。彼はその通りに証しし続けました。そしてデカポリス地方一体に福音は広まり、やがてこの地方から救われる異邦人が多く起こされたのです。彼のしたことは、ただイエス様が自分にしてくださったこと語り続けただけでした。私たちもかつては、滅びに向かう自傷行為をしていた者たちでした。しかしイエス様によって救われました。だからこそ、私たちの周りに福音を伝えることができるのは、自傷行為から救われた私たちだけなのです。神様は、あなたをそのことのための用いたいと願っておられるのです。

「自分の家に帰って、神があなたにしてくださったことを、ことごとく話して聞かせなさい。」